

# しょうげき～衝撃～ *Show Get-key*

第58期 第3 四半期 事業報告書 2004年10月1日から2004年12月31日まで

オートバックスセブン  
株主通信

Vol.10



2004年10月

## 新型「オートボックスエクスプレス」をオープン



富山県氷見市にオープンした『オートボックスエクスプレス氷見』は、小商圈・小規模の実験的店舗フォーマットである新型「オートボックスエクスプレス」の第一号店です。タイヤ、オイル、バッテリーやカーメンテナンス用品など、購入頻度の高い商品を取り扱っています。コンセプトは、「ご近所のお客さまや趣味・趣向よりも利便性を優先するお客さまにも、気軽にご利用いただける店舗」です。カーAVやモータースポーツ用品など、購入頻度が低く専門知識の必要な商品については、近隣の「スーパーオートボックス」店舗と連携することで対応しており、オートボックスグループの推進するエリアドミナント戦略の一翼を担います。



営業時間：  
10:00～20:00（不定休）  
住所：  
富山県氷見市加納 428-1  
電話：  
0766-74-1500

2004年12月

## 「スーパーオートボックス」のホームページをリニューアル

新しいホームページには、エンターテインメント性の高い「スーパーオートボックス」のコンセプトや、商品・サービスのラインナップ、さらに店舗へのアクセスや最新イベントなど、お得な情報が満載です。各店舗のキャンペーンやおすすめ商品については、売場の担当者が直接入力する最新の情報をいち早くチェックしていただけます。わくわくドキドキ!のエンターテインメントカーライフメガストア「スーパーオートボックス」の魅力がいっぱいのホームページを、是非一度ご覧ください。



<http://www.superautobacs.com>

## 目次

- 1 ● トピックス
- 2 ● ごあいさつ
- 3 ● ショーケース  
オートボックスグループの店舗展開
- 5 ● ARTA 活動報告
- 7 ● 財務報告
- 11 ● 株式情報
- 12 ● 会社情報
- 13 ● ETC
- 14 ● オートボックスグループ  
ホームページのご案内

# ごあいさつ

株主の皆さまにおかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

皆さまに弊社への理解を深めていただくことと創刊いたしましたオートバックスセブン株主通信「Show Get-key」も、今号で10冊目となりました。弊社の現状と事業の取り組みに加え、オートバックスグループの店舗、さらには車やモータースポーツなどについての様々な情報を掲載していますが、お役立ていただいておりますでしょうか。今号では、弊社の店舗展開における戦略をまとめるとともに、2004年のモータースポーツ活動のご報告、さらに巻末では普及の進むETCについてご紹介しております。ご一読いただき、弊社の将来への期待を新たにいただければ幸いです。

## 成長軌道への転換を目指して

オートバックスグループでは、カー用品市場全体が縮小傾向にあること、またお客さまのニーズがより多種多様になっていることを受けて中期事業戦略を策定し、成長軌道への転換を果たしていこうとしています。

弊社の中期事業戦略は、店舗網の整備を目的とした「エリアドミナント戦略」、お客さまのカーライフにおけるニーズにお応えできる事業展開を目指す「トータルカーライフ事業戦略」、さらに新たな市場開拓に努める「海外事業戦略」の三本柱で構成されています。当第3四半期中もこれら戦略を推進し、将来の成長に向けた準備を進めました。

店舗展開では、小商圈・小規模型の実験的店舗フォーマットである新型「オートバックスエクスプレス」の第一号店『オートバックスエクスプレス氷見』を富山県氷見市にオープンしたほか、業態転換や立地移転を中心とした店舗網の再編を加速させました。また注力している車検・整備事業においては、短時間をご利用いただける



「早・技車検」のサービスを、指定認証工場資格を取得している店舗全てでご提供できるように、システムの導入を順次進めています。

今後も「Show Get-key」では、弊社事業や業績のご報告はもとより、カーライフを豊かにする様々な情報を発信していきたいと考えております。株主の皆さまには、オートバックスグループへの変わらぬご厚情とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

2005年2月

住野 公一

住野公一  
代表取締役 CEO

# オートバックスグループの店舗展開

～多様なドライバーのニーズをカバーする体制～

SHOWCASE



## スーパーオートバックス Type I

主力業態であるスーパーオートバックスブランド定着のための大商圏型フラッグシップ店舗

商圏 半径20km  
商圏人口 100万人以上  
売場面積 500坪以上  
ピット数 40台以上  
店舗数 6店



## スーパーオートバックス Type II

エリアの中核店舗として、車好きのお客さまに対応する専門的な商品まで取り扱う大規模店舗

商圏 半径10km  
商圏人口 15～100万人  
売場面積 300坪以上  
ピット数 12～25台  
店舗数 53店



## オートバックス

普及品・消耗品を中心とするカー用品のワンストップショッピング型店舗。オレンジの看板でおなじみの地域密着型

商圏 半径4km  
商圏人口 13万人  
売場面積 150坪以上  
ピット数 4～7台  
店舗数 428店  
(「オートハローズ」16店舗を含む)



## オートバックス走り屋天国セコハン市場

お金をかけずに車に手をかけたいお客さまがターゲットの中古・アウトレットのカー用品販売と買い取りの専門店

商圏 半径5～10km  
商圏人口 30～50万人  
売場面積 100～150坪  
ピット数 2～4台  
店舗数 26店



※売場面積とピット数は標準的なフォーマット、店舗数は2005年1月31日現在の国内店舗数です。

オートバックスグループは、激しく変化する事業環境に対応するために、オートバックス／スーパーオートバックス(Type I / Type II)／オートバックス走り屋天国セコハン市場など複数の業態を展開し、さらにそれぞれが連係して多種多様なドライバーのカーライフニーズに応える体制を整えようとしています。

前号までは各業態を個別にレポートしてきましたが、今号はそのまとめとして、持続的な成長を目指すオートバックスグループの店舗展開をご説明します。

## オートバックスグループの持続的成長のために

カー用品と車関連サービス市場においては近年、ニーズの多様化やカーメーカーをはじめとする異業種との競争激化など大きな変化が起きています。これを受けて従来の体制のままでは市場とお客さまの変化に対応しきれないと判断したオートバックスグループは、今後も持続的な成長を達成していくための基盤作りとして店舗網の再編と商品・サービスラインナップの強化を進めています。

具体的には人口や商圏の特徴によって設定されたエリアの中で、提供する商品・サービスの異なる複数の業態を店舗の立地移転や業態転換、新規出店によって再配置し、多様なドライバーのニーズをカバーする体制を整えています。さらに自店舗にない商品やサービスをお求めのお客さまには、近隣のグループ店舗と協力して対応するなど、エリア内での連携を図っていきます。業態間の関係強化による相乗効果を発揮して、「オートバックスグループ店舗に行けばクルマに関する全てのもの揃う、どんなサービスも提供してくれる」というお客さまの信頼を獲得することで、店舗網全体の収益を拡大していくことを目指します。

エリア内の店舗網再編は「スーパーオートバックス」「オートバックス」「オートバックス走り屋天国セコハン市場」の3業態を中心に行われていますが、未だドライバーのニーズ全てには対応しきれていないこと、また周辺環境やニーズは日々変化していくことを踏まえて、新たな業態の開発にも継続的に取り組んでいます。直近では2004年10月に、車のドレスアップやカスタマイズなど、嗜好品には興味がないドライバーにも気軽にご利用いただける消耗品中心の小商圏小規模型店舗、新型の「オートバックスエクスプレス」を富山県にオープンしました。当面実験店舗として営業しますが、今後は多店舗展開も視野に入れて検討を行っていきます。

同時に既存業態・店舗で取り扱う商品とサービスについても充実を図っています。特にサービス面においては、車検・整備・板金や車の販売に注力しています。車の購入から日常的なメンテナンス、車関連用品の購入、カスタマイズまで、お客さまのカーライフ全てをカバーできるオートバックスグループとして、継続的な成長を実現していきます。



# ARTA活動報告

オートバックスグループが支援するモータースポーツ活動のARTA (Autobacs Racing Team Aguri) プロジェクトは、世界に通用する日本人ドライバーの育成をスローガンに、1997年にスタート。元F1ドライバーの鈴木亜久里さんを中心に、国内外の主要なレースに精力的に参戦しています。

オートバックスグループにとってのARTA活動には、サーキットでの広告宣伝効果だけではなく、モータースポーツ全体を活性化することでストアイメージとブランドを向上させ、さらには日本の車文化全体を振興していきたいという大きな目的があります。これを実現するために、グループ店舗でのイベントや広報活動を行いお客さまにモータースポーツの楽しさを紹介するなど、本業との接点を多く持たせています。

発足7年目となった2004年シーズンは、サーキットで健闘したことに加えて、オートバックスグループ全体のブランドアピールにおいても実りある1年となりました。



## ARTA Garaiya がシリーズランキング第2位を獲得！

2004年ARTAは、「夢・挑戦・感動」を活動のテーマに据えて、国内のレースを中心に取り組みました。そのうち全日本GT選手権のGT300クラスでシリーズランキング第2位を獲得した「ARTA Garaiya※」の活躍は目覚しく、シリーズ前半こそ奮わなかったものの、第4戦では初優勝、続く第5戦でも優勝と2連勝を飾り一気にポイント争いの中心に躍り出ました。惜しくもシリーズ優勝は逃したものの注目を集め、レースを追うごとに応援席のファンが増えるなど、ARTAの存在感を強くアピールできた1年でした。

※ オートバックスグループが開発したオリジナルスポーツカー「ASL Garaiya」をベースに、GT選手権のレギュレーションに適合する改造を施した車輛。2003年度より全日本GT選手権のGT300クラスに参戦しています。



## ドライバー育成「ARTA チャレンジシリーズ」がスタート

これまでも多くのプロドライバーを輩出してきたカートレースは、モータースポーツの入門編。将来のドライバーを育成し、車好きを作り出す入り口の役割を果たしますが近年、カートシリーズは縮小する傾向にありました。これを受けてARTAは、日本のモータースポーツの裾野を広げ、トップドライバーを目指す若者達に機会を提供したいと考え、カートレース「ARTA チャレンジシリーズ」の主催を決めました。2004年のシリーズは、開催初年度ながら多くの参加者がサーキット狭しと駆け回り、全16戦行われたレースは大いに盛り上がりました。

# 2004

## ARTAをもっと身近に、 店舗主催のイベント開催

オートバックスグループ店舗主催のサーキット走行会や店舗でのイベントを多数開催しました。店舗イベントでは、ARTAのドライバーや監督のトークショー、ゲームなどを通じて、お客さまにARTAをご紹介。お客さまがモータースポーツをより身近に感じ、ARTAの、そしてオートバックスグループのファンになっていただくことを狙ったイベントは毎回大盛況でした。この活動はシーズン中からオフシーズンまで年間を通して行われており、2004年は1年間に走行会62回、店舗イベントは20回を数えました。



店舗イベントには、ARTAガライヤも登場

■ ARTAのウェブサイトでは、レースやモータースポーツの情報に加え、走行会や店舗でのイベント情報などもご覧いただけます。

<http://www.autobacs.com/motorsports/>



杉河 修  
 エリアドミナント戦略推進室  
 モータースポーツ推進グループ  
 担当部長

# 2005

2005年もARTAは、  
 幅広い活動を行います

モータースポーツや車好きの方はもちろん、そうでないドライバーの方にも「クルマ楽しんでる？」をキーワードに、レースの興奮やクルマの面白さをお伝えし、車生活をもっと楽しんでいただく。それによってトータルカーライフサポート業としてのオートバックスグループの企業イメージやブランドが向上するという好循環を、いま実現しつつあります。2005年はこれをさらに進めて、より多くのお客さまにもっと楽しんでいただけるよう、大規模なイベントの企画や店舗イベント内容の充実などに取り組んでいく予定です。レースやイベントの最新情報はARTAのウェブサイトでご紹介していますので、お近くで開催の際は奮ってご来場いただき、実際に体感していただければと思います。まだまだ発展を続けるARTAの今後の活動に、どうぞご期待ください。

# 財務報告

## 連結貸借対照表

単位：百万円

<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>105,211</b>	<b>107,844</b>	<b>94,358</b>
現金及び預金	30,801	36,801	41,316
受取手形及び売掛金	23,540	20,824	12,456
有価証券	6,258	5,988	4,776
たな卸資産	23,003	22,505	18,731
繰延税金資産	2,583	2,309	2,195
短期貸付金	1,028	902	1,031
未収入金	17,290	17,628	13,372
その他	2,045	2,012	1,628
貸倒引当金	△1,340	△1,128	△1,149
<b>固定資産</b>	<b>109,181</b>	<b>101,625</b>	<b>108,402</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>60,887</b>	<b>54,340</b>	<b>60,294</b>
建物及び構築物	26,598	24,998	26,561
土地	25,981	22,345	26,064
その他	8,307	6,997	7,668
<b>無形固定資産</b>	<b>2,901</b>	<b>3,187</b>	<b>3,079</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>45,391</b>	<b>44,096</b>	<b>45,028</b>
投資有価証券	14,373	13,343	12,277
長期貸付金及び長期差入保証金	28,560	27,194	28,054
繰延税金資産	3,483	3,729	4,782
その他	905	1,720	1,687
貸倒引当金	△1,931	△1,891	△1,773
<b>資産合計</b>	<b>214,392</b>	<b>209,469</b>	<b>202,760</b>
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>44,789</b>	<b>41,676</b>	<b>33,684</b>
支払手形及び買掛金	25,289	22,898	14,136
短期借入金	2,335	2,959	2,130
未払法人税等	3,218	414	3,525
その他	13,945	15,404	13,891
<b>固定負債</b>	<b>21,010</b>	<b>18,648</b>	<b>20,835</b>
社債	8	8	8
転換社債型新株予約権付社債	10,000	10,000	10,000
長期借入金	1,849	516	1,680
退職給付引当金	1,360	509	1,394
役員退職給与引当金	159	115	159
その他	7,633	7,498	7,592
<b>負債合計</b>	<b>65,799</b>	<b>60,324</b>	<b>54,519</b>
<b>(少数株主持分)</b>			
<b>少数株主持分</b>	<b>531</b>	<b>608</b>	<b>708</b>
<b>(資本の部)</b>			
<b>資本金</b>	<b>31,958</b>	<b>31,958</b>	<b>31,958</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>32,241</b>	<b>32,241</b>	<b>32,241</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>88,426</b>	<b>89,745</b>	<b>88,651</b>
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>104</b>	<b>75</b>	<b>192</b>
<b>為替換算調整勘定</b>	<b>△267</b>	<b>△368</b>	<b>△400</b>
<b>自己株式</b>	<b>△4,402</b>	<b>△5,116</b>	<b>△5,111</b>
<b>資本合計</b>	<b>148,061</b>	<b>148,537</b>	<b>147,532</b>
<b>負債、少数株主持分及び資本合計</b>	<b>214,392</b>	<b>209,469</b>	<b>202,760</b>



## 連結損益計算書

単位：百万円

	第57期第3四半期まで (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	第58期第3四半期まで (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	第57期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
売上高	182,461	180,835	227,077
売上原価	129,325	128,584	159,271
販売費及び一般管理費	46,271	45,166	61,595
営業利益	6,864	7,084	6,210
営業外収益	5,504	5,413	7,009
営業外費用	2,033	1,802	2,738
経常利益	10,335	10,695	10,480
特別利益	579	843	1,283
特別損失	903	5,129	2,137
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,011	6,408	9,626
法人税、住民税及び事業税	5,606	2,921	5,948
法人税等調整額	△817	1,043	△1,764
少数株主利益(△)・損失	△9	108	1
四半期(当期)純利益	5,212	2,551	5,443

## 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円

	第57期第3四半期まで (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	第58期第3四半期まで (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	第57期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,898	1,621	13,807
税金等調整前四半期(当期)純利益	10,011	6,408	9,626
減価償却費	4,246	4,141	5,798
減損損失	—	4,384	—
売上債権の増減額(増加：△)	△15,198	△12,598	△219
たな卸資産の増減額(増加：△)	△5,311	△3,745	△1,022
その他	15,394	8,520	3,660
小計	9,142	7,110	17,843
利息及び配当金の受取額	614	576	827
利息の支払額	△126	△30	△97
法人税等の支払額	△4,730	△6,035	△4,765
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,093	△4,660	△645
有形及び無形固定資産の取得による支出	△5,992	△4,558	△7,894
有価証券の取得による支出	△4,217	△6,269	△4,764
有価証券の償還・売却による収入	5,858	4,370	10,188
その他	1,257	1,797	1,824
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,429	△1,563	4,605
短期借入金の増減額(減少：△)	△882	△106	△1,509
長期借入れによる収入	620	121	686
長期借入金の返済による支出	△1,256	△360	△972
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	10,000	—	10,000
自己株式取得による支出	△1,793	△5	△2,503
配当金の支払額	△1,297	△1,384	△1,303
その他	39	171	207
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16	78	△37
現金及び現金同等物の増減額(減少：△)	7,218	△4,523	17,730
現金及び現金同等物の期首残高	23,437	41,155	23,437
連結子会社除外に伴う現金及び現金同等物減少額	△12	—	△12
現金及び現金同等物の期末残高	30,644	36,631	41,155

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 38,406百万円  
2. 1株当たり四半期純利益 71円91銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

# 貸借対照表(単体)

単位:百万円

	第57期第3四半期末 (平成15年12月31日現在)		第57期末 (平成16年3月31日現在)
<b>(資産の部)</b>			
<b>流動資産</b>	<b>102,083</b>	<b>103,517</b>	<b>88,783</b>
現金及び預金	28,603	34,116	36,673
受取手形及び売掛金	29,708	26,689	16,090
有価証券	6,258	5,988	4,776
たな卸資産	10,033	8,633	8,005
繰延税金資産	1,557	1,112	1,325
短期貸付金	9,585	9,772	9,846
未収入金	16,629	17,212	12,708
その他	1,480	1,535	1,047
貸倒引当金	△1,773	△1,544	△1,690
<b>固定資産</b>	<b>112,600</b>	<b>104,475</b>	<b>110,471</b>
<b>有形固定資産</b>	<b>49,594</b>	<b>43,261</b>	<b>49,404</b>
建物及び構築物	23,978	22,262	23,677
土地	22,937	18,793	23,020
その他	2,678	2,205	2,706
<b>無形固定資産</b>	<b>2,667</b>	<b>2,349</b>	<b>2,657</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>60,339</b>	<b>58,863</b>	<b>58,408</b>
投資有価証券	12,631	11,864	10,780
関係会社株式	10,411	11,010	10,265
長期貸付金及び長期差入保証金	36,762	32,602	36,321
繰延税金資産	5,753	5,130	6,360
その他	1,349	1,449	1,579
投資損失引当金	△1,773	△1,151	△2,329
貸倒引当金	△4,795	△2,042	△4,569
<b>資産合計</b>	<b>214,684</b>	<b>207,992</b>	<b>199,254</b>
<b>(負債の部)</b>			
<b>流動負債</b>	<b>44,869</b>	<b>39,405</b>	<b>30,738</b>
買掛金	23,113	20,271	12,764
短期借入金	665	—	—
未払法人税等	3,002	—	3,180
その他	18,089	19,134	14,793
<b>固定負債</b>	<b>18,892</b>	<b>17,755</b>	<b>18,642</b>
転換社債型新株予約権付社債	10,000	10,000	10,000
退職給付引当金	898	—	905
役員退職給与引当金	119	115	119
その他	7,874	7,639	7,617
<b>負債合計</b>	<b>63,761</b>	<b>57,161</b>	<b>49,380</b>
<b>(資本の部)</b>			
<b>資本金</b>	<b>31,958</b>	<b>31,958</b>	<b>31,958</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>32,241</b>	<b>32,241</b>	<b>32,241</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>90,965</b>	<b>91,640</b>	<b>90,562</b>
利益準備金	1,296	1,296	1,296
任意積立金	82,131	85,981	82,131
当期末処分利益	7,536	4,362	7,133
<b>その他有価証券評価差額金</b>	<b>127</b>	<b>75</b>	<b>192</b>
自己株式	△4,370	△5,085	△5,080
<b>資本合計</b>	<b>150,922</b>	<b>150,830</b>	<b>149,874</b>
<b>負債及び資本合計</b>	<b>214,684</b>	<b>207,992</b>	<b>199,254</b>

## 損益計算書(単体)








単位：百万円

	第57期第3四半期まで (自平成15年4月1日 至平成15年12月31日)	第58期第3四半期まで (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	第57期 (自平成15年4月1日 至平成16年3月31日)
売上高	164,543	159,717	199,490
売上原価	131,002	128,516	158,048
販売費及び一般管理費	25,830	24,306	34,311
営業利益	7,709	6,895	7,130
営業外収益	4,833	4,962	6,370
営業外費用	930	1,129	1,270
経常利益	11,612	10,729	12,230
特別利益	595	1,625	1,180
特別損失	2,894	5,958	4,719
税引前四半期(当期)純利益	9,313	6,396	8,692
法人税、住民税及び事業税	5,187	2,335	5,383
法人税等調整額	△1,333	1,524	△1,753
四半期(当期)純利益	5,460	2,536	5,062
前期繰越利益	2,714	2,571	2,714
中間配当額	638	745	643
四半期(当期)未処分利益	7,536	4,362	7,133

注) 1. 有形固定資産の減価償却累計額 28,399百万円  
2. 一株当たり四半期純利益 71円45銭

3. 金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

## 業態別店舗数

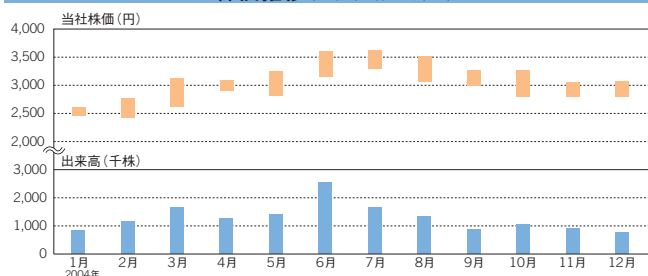
	第57期第3四半期 (平成15年12月31日現在)	第58期第3四半期 (平成16年12月31日現在)	第57期 (平成16年3月31日現在)
スーパーオートバックス:	50	59	54
 Type I	6	6	6
 Type II	44	53	48
 オートバックス	426	412	421
 オートハローズ	16	16	16
 オートバックスエクスプレス	4	5	4
 オートバックス走り天国セコハン市場	22	26	22
 オートバックス・カーズ	15	16	16
海外(スーパーオートバックス、オートバックス)	11	12	11
合計	544	546	544

\* オートバックス・カーズについては、カーズ端末(中古車情報の検索端末)のみを設置している店舗は含んでおりません。

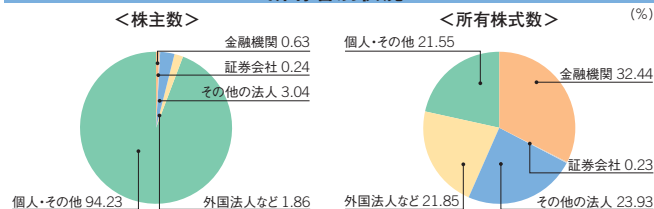
# 株式情報 (2004年9月30日現在)

発行する株式の総数	109,402,300株
発行済株式の総数	37,643,742株
株主数	11,138名
決算日	3月31日
定時株主総会	6月
基準日	定時株主総会 3月31日 利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日 なお臨時に必要なときは、あらかじめ公告いたします。
1単元の株式の数	100株
公告掲載新聞	日本経済新聞 ただし、商法特例法第16条第3項に定める貸借対照表および損益計算書に係る情報は、 <a href="http://www.autobacs.co.jp/">http://www.autobacs.co.jp/</a> において提供いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所、大阪証券取引所、ロンドン証券取引所
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
名義書換事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番4号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	東京都府中市日鋼町1番10(〒183-8701) 住友信託銀行株式会社 証券代行部
住所変更等用紙のご請求	0120-175-417
その他のご照会	0120-176-417
名義書換取次所	住友信託銀行株式会社、本店および全国各支店
大株主一覧	有限会社スミノホールディングス 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) 株式会社オートバックスセブン ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー) サブアカウントアメリカンクライアント 財団法人在宅医療助成勇美記念財団 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4) 住野 正男 ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リュウエスタックスエグゼンプテッドペンションファンズ 住野 公一

## 株価推移(大阪証券取引所)



## 所有者別状況



## 住所変更の手続きについて

ご住所を変更された場合、株主名簿の変更手続きをお願い致します。株主招集ご通知や配当金などをお届けできなくなります。

ご変更は、住友信託銀行(株)の電話照会先(フリーダイヤル)までご連絡ください。なお、証券保管振替制度をご利用の株主さまについては、お取引の証券会社で変更手続きを行ってください。

## 株主優待制度について

『オートバックス』、『スーパーオートバックス』などで、1,000円(消費税込み)のご利用につき1枚お使いいただける株主優待券(300円値引)を、3月末日(6月発送)と9月末日(12月発送)の年2回、株主名簿に記載されている株主の皆さまにお送りしています。

### ご参考

- 配布枚数(半期毎): 所有株式数 100株~999株 優待券25枚  
1,000株~ 優待券50枚
- 優待券は日本国内のオートバックス、スーパーオートバックス、オートバックス走り屋天国セコハン市場、オートバックスエクスプレスおよびオートハローズの全店舗でご利用いただけます。ただし、オートバックス・カーズ、海外店舗ではご利用いただけません。
- 優待券は燃料、車両、保険、税金、飲食、タバコ、特價商品などにはご利用いただけません。  
※車検につきましては、税金、重量税、印紙代、自賠責保険料にはご利用いただけません。車検基本料、検査手続き代行料、完成検査料、その他整備工賃、部品代にはご利用いただけません。(手続き費用は、一部店舗によって名称が異なります。)

# 会社情報 (2004年12月31日現在)

商号	株式会社オートバックスセブン (AUTOBACS SEVEN CO., LTD.)
創業	1947年2月
資本金	319億5千8百万円

**主な事業内容** 当社は、各種自動車用品部品の委託製作、販売、輸出入を主要事業として、小売総合専門店を直営店とフランチャイズ店で並行して全国にチェーン展開しております。

## 役員一覧<sup>\*1</sup>

### 取締役 兼 オフィサー

#### 代表取締役

住野 公一 CEO

#### 取締役

井手 秀博 財務基盤整備担当

住野 耕三 新規事業担当

住野 泰士 国内店舗子会社担当

経森 康弘 Co-COO  
トータルカーライフ事業戦略推進統括

中田 康雄<sup>\*2</sup> (カルビー(株)取締役副社長)

野上 明 COO

松尾 隆 経営戦略推進担当 兼 経営戦略推進室長

横井 英昭 人材基盤整備・システム基盤整備担当

湧田 節夫 Co-COO  
エリアドミナント戦略推進統括

#### 監査役

小山 勝士 常勤監査役

森野孝太郎<sup>\*3</sup> 常勤監査役

吉田 治邦<sup>\*3</sup> 常勤監査役

久保田達夫<sup>\*3</sup> 監査役  
(WL Ross & Co. LLC マネージング・ディレクター)

主要な事業所	本社	(東京都江東区)
	北日本 エリア事業部	(仙台市泉区)
	北関東 エリア事業部	(千葉県市川市)
	南関東 エリア事業部	(千葉県市川市)
	中部 エリア事業部	(名古屋市長久保区)
	関西 エリア事業部	(大阪府吹田市)
	南日本 エリア事業部	(福岡市博多区)
	欧米事業部	(東京都江東区)
	アジア事業部	(東京都江東区)
	中国事業部	(東京都江東区)
	U-PARTS 事業部	(東京都江東区)
東日本ロジスティクスセンター	(千葉県市川市)	
西日本ロジスティクスセンター	(兵庫県美囊郡)	

### オフィサー 取締役を除く

伊藤 浩明	北日本 エリア事業部長
江本 吉弘	南日本 エリア事業部長
釜田 尚文	南関東 エリア事業部長
榎 宏介	北関東 エリア事業部長
小林喜夫巳	海外事業戦略推進担当 兼 海外事業戦略推進室長 兼 アジア事業部長
小平 智志	戦略推進基盤整備担当 兼 運営企画管理部長
澤田 和良	車検整備事業担当
志野 修市	中国事業担当 兼 中国事業部長
角倉 正親	業態開発事業担当
武田 健一	トータルカーライフ事業戦略推進担当 兼 カー用品事業担当 兼 トータルカーライフ事業戦略推進室長
戸出 譲	中部 エリア事業部長
松村 晃行	関西 エリア事業部長
深山 義郎	C@RS 事業担当 兼 C@RS 事業推進部長
森本 弘徳	エリアドミナント戦略推進担当 兼 エリアドミナント戦略推進室長
森本 真臣	U-PARTS 事業担当

<sup>\*1</sup> 50音順 (CEO、監査役除く) <sup>\*2</sup> 印は社外取締役

<sup>\*3</sup> 印は社外監査役

～クルマ生活をもっと便利に、環境にもやさしく～

# ETC



ご存知ですか？

ETCシステムは、料金所での渋滞緩和でドライバーの利便性を高めると同時に、渋滞を減らすことによって騒音や地球温暖化を引き起こすCO<sub>2</sub>を含んだ排気ガスの抑制など、環境への影響を軽減することにも役立っています。オートバックスグループはお客さまのクルマ生活を便利で豊かなものにするお手伝いはもとより、クルマ社会で活動するプレーヤーの一員として環境に貢献したいと考え、このETCシステムの普及に尽力しています。

店舗では、機能を絞ったシンプルなモデルから充実した機能の上級モデルまで幅広い商品を取り揃えており、お客さまのニーズに合ったETC車載器のご案内や、取り付け・セットアップ<sup>\*1</sup>、ETCカードお申込みなどのサービスをご利用いただけます。さらに様々なキャンペーンを展開し、お客さまのETCのご利用をトータルにお手伝いしています。現在オートバックスグループ店舗<sup>\*2</sup>では、高速道路利用料金5,000円をお返しする「道路3公団からの割引が充実している今だからETC祭」を2005年3月31日まで実施中です。

キャンペーンの詳細は、お近くのオートバックスグループ店舗にお問い合わせください。

<sup>\*1</sup> **セットアップ** ご購入いただいた車載器に、お客さまの車両情報を入力する作業。オートバックスグループ全店で受付けています。

<sup>\*2</sup> **実施店舗** 全国のオートバックス、スーパーオートバックス、オートハローズおよびオートバックスエクスプレス129厚木店。



ETCの詳細は、下記ウェブサイトをご参照ください。

ETC総合情報ポータル  
サイト(財団法人道路  
システム高度化推進機構)

<http://www.go-etc.jp/>

オートバックスグループのウェブサイトでも、ETCに関する様々な情報をご覧ください。

## 日本道路公団のETC割引

日本道路公団では、ETCを利用すると時間帯や走行距離・区間などによって高速道路料金が割引になる制度を充実させています。現在行われているのは、「深夜割引」「通勤割引」「早朝夜間割引」の3つで、4月からは「マイレージ割引」も実施されます。最大で半額になるお得な割引制度を、ETCでかしく利用してみたいかがでしょうか。

### 〔ETC 深夜割引〕

午前0時から午前4時までの間に、日本道路公団の管理する高速道路を走行すると、

**3割引!**

### 〔ETC 通勤割引<sup>\*</sup>〕

午前6時から午前9時または午後5時から午後8時の間に、入口または出口料金所を通過し、その間の走行距離が100km以内だと、

**5割引!**

※ 東京・大阪近郊の大都市近郊区間は割引対象外

### 〔ETC 早朝夜間割引〕

午後10時から午前6時の間に入口または出口料金所を通過し、東京・大阪近郊の大都市近郊区間を含む100km以内の走行で、

**5割引!**

全てETCが整備されている入口料金所をETC無線通信により走行した場合。尚、高速道路以外の有料道路(一般有料道路や首都高速道路など)は、割引の対象外です。

詳細は、日本道路公団のホームページをご覧ください。

[http://www.jhnet.go.jp/format/index\\_discount.html](http://www.jhnet.go.jp/format/index_discount.html)

# オートバックスグループ ホームページのご紹介

<http://www.autobacs.co.jp/>



弊社の企業情報サイトです。会社案内、IR情報、ニュースリリースなどを閲覧いただけます。

<http://www.autobacs.co.jp/seven/ir/>



IR専用サイトです。財務情報や株価情報、株主情報などを掲載しています。過去のIR刊行物もご覧いただけますので、是非ご利用ください。

決算公告

財務ハイライト

IR資料 (月次情報、決算短信、有価証券報告書、アニュアルレポート、ファクトブック、株主通信、決算説明会資料)

株価情報

株主情報 (優待制度、株主メモ、FAQ)

IRに関するFAQ

資料請求

<http://www.autobacs.com/>

オートバックスグループのポータルサイトです。各業態・店舗や、商品、車検・整備などについてご案内しています。

IR情報に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。

経営戦略推進室

IR・インフォグループ

電話 : 03-6219-8718

ファックス : 03-6219-8769

email : [investors@autobacs.com](mailto:investors@autobacs.com)



日本道路公団からの割引が充実してる今だから、

# ETC祭



オートバックスがあなたの高速道路利用料金  
**5000円分**をお返しします  
第5期 キャンペーン

**ポイント**と  
オートバックスから  
高速道路利用料金  
**5,000円分**  
お返しします。

キャンペーン受付期間  
2004年10/1(金)~2005年3/31(木)

高速道路ご利用対象期間 2005年6月30日(木)ETC

**STEP 1** オートバックス店舗購入の下部4社のクレジットカード・ETCカード申込書にて、厳密にクレジットカード・ETCカードをセットで申込む。  
※今お持ちのクレジットカードにETCカードの追加申し込みは対象外です。  
※申込書の投函はお客様自身でお願いします。

**STEP 2** 車載器を購入・セットアップ。

**STEP 3** お申込のカードで高速料金を5,000円分支払う。

**STEP 4** **5,000円**が戻ってくる!  
※キャンペーン詳細は裏面をご覧ください。

日本道路公団からのETC割引情報

**ポイント**と  
情報1 使えば使うほどポイントがたまる  
マイレージ割引制度  
平成17年4月~(予定) (利用実績割引)

**ポイント**と  
情報2 深夜割引制度  
平成18年11月1日~ (通行料金30%off)

**ポイント**と  
情報3 早朝夜間割引制度  
平成17年1月11日~ (通行料金50%off)

**ポイント**と  
情報4 通勤割引制度  
平成17年1月11日~ (通行料金50%off)

詳しくは、  
日本道路公団の  
ホームページ  
<http://www.jnnet.go.jp/>  
をご覧ください。



